

作成日：2023年1月31日

研究協力のお願

昭和大学病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

AIによる頭蓋内出血を対象としたCT画像診断支援技術の有効性評価

1. 研究の対象および研究対象期間

2002年1月1日～2022年12月31日に当院でCT撮影を受けられて、頭蓋内出血（脳実質内出血、脳室内出血、くも膜下出血、硬膜下出血、硬膜外出血）と診断された方

2. 研究目的・方法

現在、AIを活用した画像診断支援が注目を浴びており、CT画像診断において、頭蓋内出血を対象とした画像診断技術の実用化を検討しています。

この技術の検出能に対する有用性の判断を行うため、①CT画像の収集、②CT画像への頭蓋内出血箇所マーキング、③CT画像AIの検出結果の評価、を行います。

また、本システムの支援有無による診断能の向上に関しても評価します。

個人情報を守るために、取得した診療情報から個人を識別できる情報を削除し、独自の符号を付して対応表を作成します。これにより、どの個人の情報であるか直ちに判別できない情報に加工（匿名化）します。対応表は昭和大学放射線医学講座で管理し、匿名化された診療情報も第三者が閲覧できないよう、管理します。

なお本研究は、富士フイルムからの資金提供を受けて実施する受託研究です。

研究期間

昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会にて審査後、委員会から発行される審査結果通知書の承認日より、研究機関の長の研究実施許可を得てから 2025年1月31日まで

3. 研究に用いる試料・情報の種類

試料：なし

情報：CT画像、読影レポート

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学医学部放射線医学講座（昭和大学病院） 氏名：村上 幸三

住所：142-8666 品川区旗の台1-5-8 昭和大学 電話番号：03-3784-8000（内線8573）

研究責任者：

昭和大学医学部放射線医学講座（昭和大学病院） 村上 幸三